

2005

新年のごあいさつ



甲賀市長
中嶋 武嗣

明けましておめでとうございます。
甲賀市として初めての新年を市民の皆様方とともに迎えられましたことを心から慶んでおります。

とりわけ、昨年発生した新潟の中越地震、台風二三号を初めとする風水害など、自然災害の怖さをおぼやかし、甲賀市民の皆様が、健やかなうちに新年を迎えられましたことの慶びは、市長としてひとしおの思いがあります。

さて、合併後三か月が経過しました。合併直後から考えますと、市政にも徐々に落ち着きが出てきました。

まず今年、合併前に培われた地域のまとまりや特色ある地域性を見直す年にした、と考えております。

合併後は速やかな一体性の確保に重点を置き、市政を進めてまいりました。本庁中心の組織体制が基本となっており、合併のスケールメリットとしても大きな効果がさらに求められるところでもあります。しかしながら合併の忙しさとスケールメリットばかりに追われてしまい、ややもすれば地域の良が見失われる怖さもあります。今一度、支所との連携を強化し、真に市民参加による甲賀市の創造をめざしたいと考えております。

市民の皆様のご協力をいただくためにも分権分散型の行政を改めて考える年にした、と思っております。年が明け、平成十七年度予算編成も大詰めになります。これからは各地域の皆様とも十分議論を交わしながら誤りのない事業の選択に努めていきたいと思っております。

最後になりますが、市民の皆様さらなるご支援とご協力をお願いして新年のご挨拶とさせていただきます。



甲賀市議会議長
北村 重幸

明けましておめでとうございます。
甲賀市議会を代表致しまして、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様方にはご家内お揃いで平成十七年の初春をお迎えになられましたことを、心からお喜び申し上げます。

昨年は世相を象徴する漢字が「災」でありましたように、わが国のみならず世界中の政治、経済、社会や自然までが大変動の渦に巻きこまれた憂い多き年でありました。

しかし、その中で私たちは三年越しの懸案でありました五町の合併による甲賀市を見事に誕生させて、滋賀県東南部の要地である甲賀地域の飛躍のための基礎をがっちり固めることができました。

五地域の皆様の暖かいご理解とご協力に對しまして、議員一同心より深甚なる敬意と感謝の誠を捧げます。

さて、甲賀市は昨年末までに新市長を選出するとともに執行部の体制も完備され、一足先に態勢を整えた議会の陣容と相まって舞台も役者も揃いました。

本年はその実績をベースキャンプとして、五地域の活力を甲賀市の推進力に結集するため、三月議会では平成十七年度の予算を成立させ、九月議会では平成十六年度後半期の決算を審査して在任特例議会としての責任を完了します。さらに十月には市議会議員の選挙を実施して第二走者への円滑なバトンタッチを図るべく最後まで努力する所存です。

何とぞ本年も皆様方の変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い一同衷心よりお願い申し上げます。